

風力発電学習会 北海道における洋上風力発電と漁業

建設・維持・廃棄を含めライフサイクルとして洋上風力発電が本当にCO2削減に貢献できるのか。洋上風力発電事業自体が再エネ賦課金だのみの不採算事業であり、漁業分野を含め満足な補償等に対応がなされるのか。漁業を犠牲にしてまで行う価値のあるプロジェクトなのかなどを、北海道機船漁業協同組合連合会 常務理事の原口聖二氏にお話を伺います。



原口氏ブログ：「洋上風力発電と漁業 海外の経験」より写真提供

・石狩市沖における海洋再エネ整備法に基づく協議会が2026年2月6日に開催されました。しかし自然保護団体や住民は協議会構成員(メンバー)には選ばれていません。環境省も構成員ではありません。自然への影響は大丈夫でしょうか。

・このまま進めて海洋生物への影響や漁獲量の変化や影響は大丈夫でしょうか。 スケトウダラ



日時：2026年6月27日(土) 13:30~16:00

場所：石狩市花川北コミュニティセンター2階会議室 ABC

(石狩市花川北 3-2-198 電話 0133-74-6525)

◇13:35~佐々木邦夫氏 (北海道自然保護協会理事)

東急不動産「(仮称) 厚田風力発電事業計画・高さ 173m15基」の解説

◇13:50~講演：原口聖二氏 (北海道機船漁業協同組合連合会 常務理事)

◇15:00~質疑応答

参加費：500円

主催：石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会

共催：一般社団法人北海道自然保護協会 後援：NPO 法人さっぽろ自由学校「遊」



問合せ：石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会

<https://windturbine.lbcc-alumni.jp/index.shtml>

電話・FAX 0133-74-0901 (岡本)